

様式 8

事業実績報告書

(団体名：葛城笑いで元気になる会)

事業名	こども落語鑑賞会
実施した場所	中央公民館小ホール
参加者・実施回数等	市内小学校5校より申し込み 子供 69名 保護者 47名
実施した内容 (詳しく記入して下さい)	笑福亭竹林、桂治門、笑福亭呂翔、 3人の落語家を招き ① 落語解説 落語1席 ② お囃子紹介 ③ 座布団に座り小噺、鳴り物に挑戦 ④ 質問コーナー ⑤ 落語 別紙パンフ、写真、アンケートあり
得られた効果	落語を生で観る、体験する事で落語に触れ、学び、楽しむことができた。
今後の展望	今後も葛城市の子供たちに古典落語を身近で聞き、学び、健やかな成長の寄与するという目的を達したい。

事業を実施してみた 感想など	来場者アンケートでも、面白かった、次回も是非観たいが大半でした。「落語を習いたい」「次のこども落語会は決まってるのですか？」などのお問い合わせも沢山いただきました。 他の市役所の方も見学にこられました。
-------------------	--

※この様式に記載しきれない場合は、別紙にて報告資料を提出いただいても構いません。

様式9

事業収支決算書

(団体名: 葛城笑いで元気にする会)

<令和5年度 収入の部>

(単位: 円)

収入の種類	決算額	積算内容 (詳しく記入して下さい)
入場料	223,900-	5/14 1,500 × 155枚 - 販売手数料 8600円
〃	310,900-	3/3 1,800 × 180枚 - 販売手数料 13,100円
協賛金	60,000-	
自己負担(会員)	40,801-	
活動支援金	159,199-	
収入合計	794,800 円	

<令和⁵年度 支出の部>

項 目	決算額	支出内容 (詳しく記入して下さい)
補助対象経費		
出演者報酬	150,000- ✓	落語家 3名、他 1名
印刷費	1,890- ✓	学校配布チラシ
〃 (コピー)	375- ✓	) チラシ 不足分
〃	150- ✓	
〃	240- ✓	
レタナル費	1,400- ✓	平台、モせん
こどもボランティアお礼	2,555- ✓	お菓子、ラッパンワイ代 (4人)
備品	440- ✓	メッシュケース、バック
文具	2,149- ✓	テフラテ-フ、のし袋、封筒
補助対象外経費		
出演者報酬	300,000- ✓	150,000円 × 2日 (5/14、3/3) 落語家 3名、他 1名
〃 交通費	28,000- ✓	(5/14、3/3、8名分)
会場費	86,620- ✓	5/14、44,170円 3/3 42,450円
レタナル費	2,800- ✓	1400 × 2日分 (5/14、3/3)
印刷費	112,901- ✓	5/14 75,900円 3/3 37,001円
飲食費	60,241- ✓	出演者お弁当、お茶、お菓子
落語会 お礼	6,000- ✓	(5/14 25,525円、12/9 12,802円、3/3 20,914円)
ボランティアお礼	3,996- ✓	お菓子
支出合計		お菓子

※ この様式内に記載しきれない場合は、別紙資料を添付して下さい。

様式9

事業収支決算書

(団体名：)

<令和5年度 収入の部>

(単位：円)

収入の種類	決算額	積算内容 (詳しく記入して下さい)
収入合計		

<令和4年度 支出の部>

項 目	決算額	支出内容 (詳しく記入して下さい)
補助対象経費		
補助対象外経費	駐車場 お礼 5,000- スタッフ お弁当代 22,453- お茶代 1,585- 消耗品 3,278- 備品 2,727-	運営スタッフ7名+当日ボランティア×3月分 マスク、アルコール 消毒液 ホット 収納ボックス
支出合計	794,800円	

※ この様式内に記載しきれない場合は、別紙資料を添付して下さい。

第2回

ことと

落

語

鑑賞会

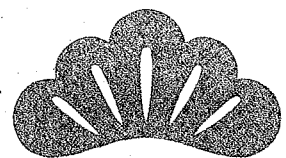
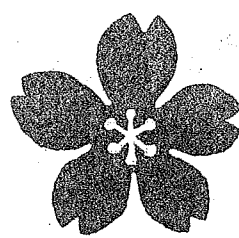
笑福亭竹林

桂治門

笑福亭呂翔

三味線

はやしや福



12月9日 土

開場 14時

開演 14時30分

16時30分終演

定員 150名

定員になり次第

締め切ります

会場

中央公民館小ホール
(屋敷山公園内)

奈良県葛城市南藤井17番地

074516915131

主催

葛城笑いで元気になる会
代表 安川博文

対象者

葛城市在住の小学生
(保護者様一名のみ同伴可)

後援

葛城市
葛城市教育委員会

お問い合わせ

niko.niko.smile0328@gmail.com (中井)

感染症対策の為、会場ではマスクの着用をご協力ください

申込期限 11月末日

- 一、「落語解説と落語」
- 二、お囃子紹介
中入(休憩)
- 三、体験コーナー
(小噺や鳴物にチャレンジ!)
- 四、質問コーナー
- 五、最後に落語もう一席